

索道安全報告書

令和5年度 長岡市古志高原スキー場

長岡市古志高原スキー場 ペアリフト

1. 利用者の皆様へ

クリスマス寒波により予定通り12月23日にオープンすることができましたがその後雪が降らず大事な年末年始に10日間も休業に追い込まれました。その後もなかなかまとまった雪が降らず2月には火伏コースを閉鎖しての営業が続きました。2月25日にファン感謝デーのイベントも行いましたが雪が40センチほどとなりいつ閉鎖してもいい状況となりましたが毎日従業員一丸となり雪集めや雪入れの作業で何とか乗り切りました。そのかいしましたあつて3月に入り降雪に恵まれ3月20日の最終日前日まで営業ができました。お客様にはいろいろご迷惑をお掛けしたシーズンでしたが何とか最終日前日まで営業できたことに感謝いたします。

年末年始の営業できないときには機械の点検や整備作業を行い、故障や事故が起きないように取り組んでまいりました。1月1日の能登地震が起こった時も機械の点検を素早く行い、いつでも動かせることを確認しましたそしてこれを機に地震時の対応についてみんなで確認したところです。シーズン通してみれば悪天候や強風による営業中止がなくて穏やかなシーズンでした。これからも当社として皆様の安全を第一に考えて索道の運転に努め参りたいと思います。

加えてお客様が安心して楽しくご利用頂ける様に取り組んでまいりたいと思いアンケートやお客様からの声を頂きいろいろと創意工夫し安全で楽しめるスキー場として、一層努力していきたいと考えております。

今年度は駐車場の整備工事やグレンデの改修工事を行い少しでも安心して楽しくスキー出来るようこころがけてきました次年度もおお客様の声に真摯に向き合いまた安全にも気を配り営業に取り組みたいと思います。

株式会社山古志観光開発公社 代表取締役社長 田中 仁

2. 基本方針と安全目標

【1】基本方針

当社の基本理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、代表取締役以下従業員全員に周知、徹底しております。

- (1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及びそれに関する規則(本規定を含む)をよく理解するとともにこれを順守し、原生、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをします。
- (5) 事故、災害等が発生した時は、人命を再優先に行動し、すみやかに安全かつ適切な処置を取ります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

【2】安全目標

- (1) 索道運転事故及び、負傷者ゼロを目標とします。
- (2) 全社一丸となり、目標に向けて安全輸送に取り組む所存です。

3. 事故の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道事故(人身事故索道事故はありません)。
- (2) 災害(地震、風害、豪雪など)ありません。

(3)インシデント(事故の兆候)ありません。

(4)行政指導ありません。

4. 輸送の安全のための取り組み

(1) 人材教育

救助訓練

AED 救急法

従業員教育

パトロール研修の参加

モービル、圧雪車の講習参加

(2)各種索道研修会への参加

本年度はモービルの講習会へ2名参加、パトロール研修会検定会に1名参加、地区部会の技術研修会2名、主任技術研修会は、1名が参加、加えて防火管理者講習会にも1名が参加と多くの研修会にも参加をしてきました

(3)索道は日本ケーブル社により定期点検を行い、従業員の日々の点検では、不良箇所が発見された時は素早く当社またはメーカーによる修理を行うようにしています。

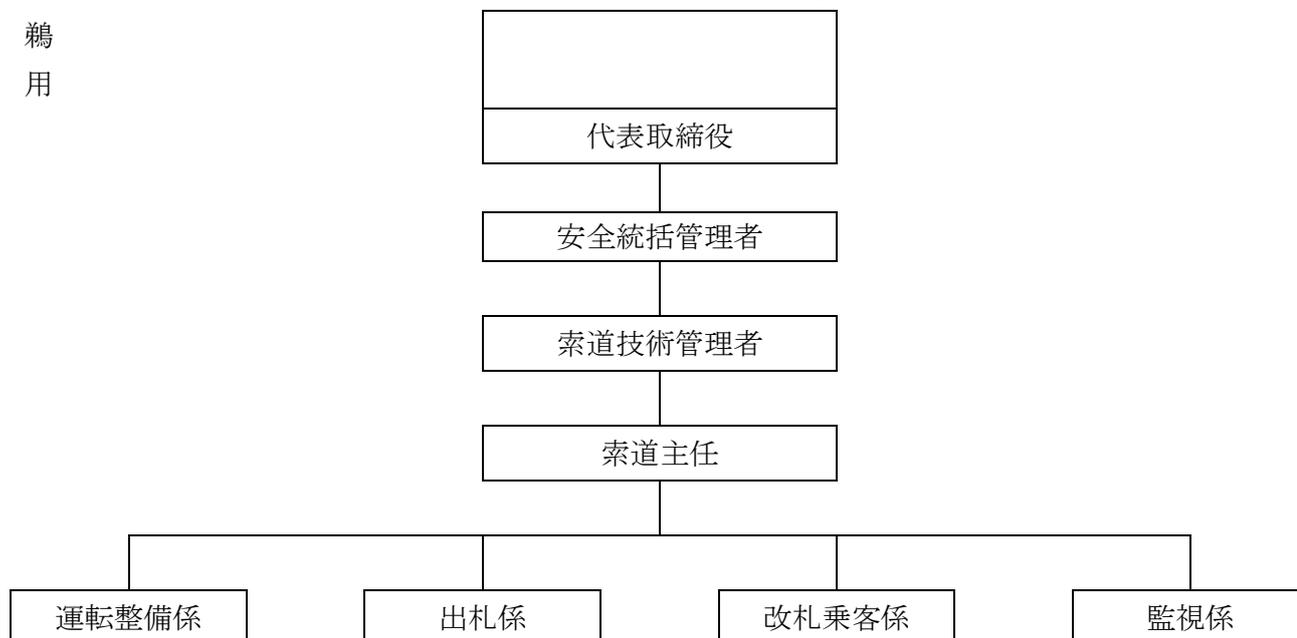
(4)電気は東北電気保安協会より毎月 1 回の定期点検を受け、不良箇所等の指摘を受けた時は長岡市と協議の上で対応している。

(5)索道、ゲレンデのパトロールを昨年同様しっかり行い、点検表を用いて確実に実施していることが確認できるようにしている。

5 当社の安全管理体制

代表取締役社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

鵜
用



代表取締役	輸送の安全の確保に関する最終的な責務を負う。
安全統括責任者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者指揮の下、索道の運行を管理、索道施設の保守および管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道主任	索道技術管理者指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

5. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 2023～2024 シーズンは事故もなく無事営業を終了することができました。ご利用いただいた多くのお客様に感謝申し上げます。

今年度も従業員の教育および安全管理に努め、安全なスキー場を目指し、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。

お客様からお寄せいただきましたお声は真摯に受け止め、より信頼される安全なサービスが提供できるよう役立てます。場内には注意看板を設置し、お客様の理解をいただき、事故防止に繋げて参りたいと思います。

(2)各所にアルコールや検温機を設置又、食堂、休憩所ではインフルエンザや新型コロナ感染症対策として今年度も自動の検温器やウイルス対策の空気清浄機を設置しました。又ジェットタオルの稼働も始めました

(3)リフト乗車時の注意事項

- ① 乗り方に慣れないお客様は、係員にその旨お申し出ください。
- ② リフト乗車中は、空き缶、そのほかの物品を、投げ捨てないでください。
- ③ 搬器を揺らしたり、飛び降りたりしないでください。
- ④ 衣類、携行品、髪の毛等が施設に巻き付かないように注意してください。
- ⑤ リフトが急停止することがありますので、前方を注視し、肘掛け等に捕まり、静かに乗車願います。
- ⑥ グローブ、ストックなどを落とさないようにお願いします。
- ⑦ リフトに乗りながらの携帯電話の使用は禁止です(緊急な時は除く)

(4)古志高原スキー場では安全を考慮して新雪上滑走具の利用はお断りをしています。詳しくは直接お問い合わせください

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

〒947-0204

新潟県長岡市山古志竹沢甲 910

長岡市古志高原スキー場

Tel 0258(59)3500 fax 0258(59)2346

<mailto:info@koshikogen.com>

〒947-0201

新潟県長岡市山古志種苧原 4526

あまやちの湯

株式会社山古志観光開発公社

Tel 0258(59)3620